



コールパーク

コールパーク機能を使用すると、コールを保留にし、Cisco CallManager システム内の別の電話機（たとえば、別のオフィスや会議室の電話機）からそのコールに応答することができます。電話機でアクティブなコールを受けているときに、[Park (パーク)] ソフトキーまたは Call Park ボタンを押して、そのコールをコールパーク内線番号にパークすることができます。システム内の別の電話機から誰かがそのコールパーク内線番号をダイヤルすると、そのパークされているコールを取得できます。

コールパーク内線番号として、1つの電話番号またはある範囲の電話番号を定義できます。各コールパーク内線番号でパークできるコールは1つだけです。

この章では、コールパークに関する次の情報を提供します。

- [コールパークの概要 \(P.9-2\)](#)
- [コールパークのシステム要件 \(P.9-6\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.9-7\)](#)
- [コールパークのインストールとアクティブ化 \(P.9-9\)](#)
- [コールパークの設定 \(P.9-10\)](#)
- [コールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-11\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-16\)](#)
- [その他の情報 \(P.9-20\)](#)

コールパークの概要

コールパーク機能は Cisco CallManager クラスタ内で動作します。クラスタ内の各 Cisco CallManager にコールパーク内線番号が定義されている必要があります (クラスタ間でコールパークを使用する方法については、[P.9-3 の「クラスタ間でのコールパークの使用」](#)を参照してください)。コールパーク内線番号として、1 つの電話番号またはある範囲の電話番号を定義できます。電話番号または番号範囲は固有である必要があります。

有効なコールパーク内線番号は、整数とワイルドカード文字 (X) から構成されます。最大 2 桁のワイルドカード文字 (XX) を設定できます (たとえば、80XX)。XX を設定すると、最大 100 個のコールパーク内線番号が提供されます。コールがパークされると、Cisco CallManager は、次に使用可能なコールパーク内線番号を選択し、電話機にその番号を表示します。


Cisco CallManager では、各コールパーク内線番号に、コールを 1 つだけパークすることができます。



(注)

ユーザがクラスタ内のサーバ間でコールパークを使用する場合は、クラスタ内の各 Cisco CallManager サーバにコールパーク内線番号を設定する必要があります。設定の詳細については、[P.9-14 の「コールパーク番号の追加」](#)を参照してください。

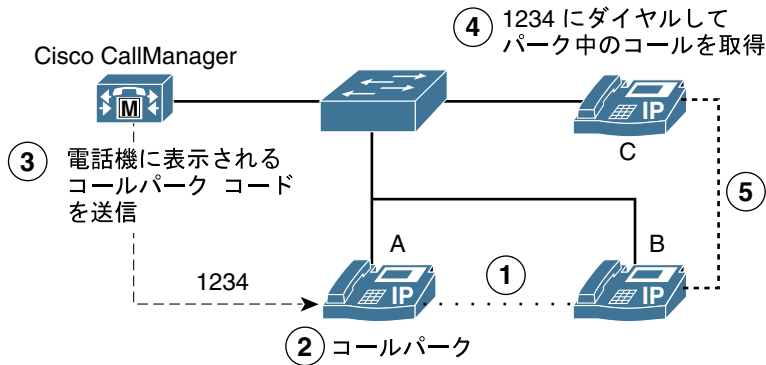
コールパーク機能の使用

 [9-1](#) に、コールパークのプロセスを示します。

1. 電話機 A のユーザが電話機 B にコールします。
2. 電話機 A のユーザが、プライバシーのため会議室で通話するとします。電話機 A のユーザは [パーク] ソフトキーを押します。
3. 電話機 A が登録されている Cisco CallManager サーバは、最初に使用できるコールパーク電話番号 1234 を送信します。この番号は、電話機 A に表示されます。電話機 A のユーザは、コールパーク電話番号を確認します (電話機 C でその電話番号をダイヤルできます)。

4. 電話機 A のユーザはオフィスを出て、使用できる会議室に行きます。会議室の電話機は、電話機 C として指定されています。ユーザは電話機 C をオフフックにし、1234 をダイヤルして、パークされたコールを取得します。
5. システムによって電話機 C と電話機 B の間にコールが確立されます。

図 9-1 コールパークのプロセス



- 初期の流れ ①
- コールパークコード
- 最終的な流れ ⑤

94185

クラスタ間でのコールパークの使用

ユーザは、割り当てられたルートパターン（たとえば、クラスタ間トランクのルートパターンとしての 80XX）とコールパーク番号（たとえば 8022）をダイヤルして、パークされたコールを別の Cisco CallManager クラスタから取得できます。また、コール検索スペース（コーリングサーチスペース）とパーティションが正しく設定されていることを確認してください。次の例を参照してください。

パークされたコールを別のクラスタから取得する例

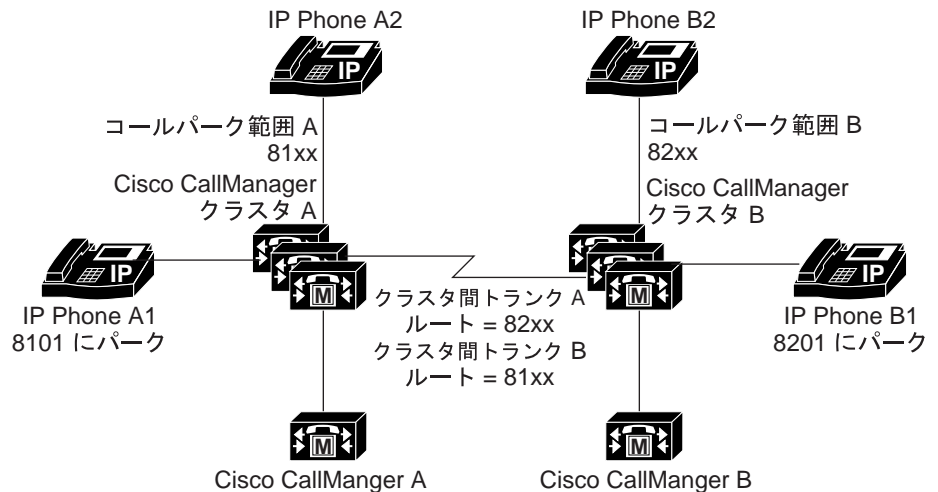
ネットワークに2つのクラスタ（クラスタ A とクラスタ B）があります。クラスタ A にはユーザ A1 とユーザ A2 があります。クラスタ B にはユーザ B1 とユーザ B2 があります。

クラスタ A には、81xx の範囲のコールパーク番号が設定されています。クラスタ B には、82xx の範囲のコールパーク番号が設定されています（これらは管理者によって設定されます）。

クラスタ A には、ほかのクラスタのパーク範囲へのルートパターンとして 82xx が設定されています（クラスタ B へのルート）。クラスタ B には、ほかのクラスタのパーク範囲へのルートパターンとして 81xx が設定されています（クラスタ A へのルート）。

ユーザ A1 が 8101 にコールをパークすると、ルートパターン設定により、クラスタ A とクラスタ B 内のすべてのユーザ（正しいパーティションが設定された）が、パークされたコールを取得できます。ユーザ B1 が 8202 にコールをパークすると、ルートパターン設定により、クラスタ A とクラスタ B 内のすべてのユーザ（正しいパーティションが設定された）が、パークされたコールを取得できます。図 9-2 を参照してください。

図 9-2 クラスタ間トランクによる、パークされたコールの取得



例 1

1. A1 と A2 が通話していて接続中である
2. A1 が 8101 にコールをパークする
3. B1 が 8101 にダイヤルすると、コールはクラスタ A にルートされる

例 2

1. B1 と B2 が通話している
2. B1 が 8201 にコールをパークする
3. A1 は 8201 にダイヤルすると、パーク中のコールを取得できる

クラスタ間トランク A は、ルート 82xx を利用して、クラスタ B へアクセスする
 クラスタ間トランク B は、ルート 81xx を利用して、クラスタ A へアクセスする

注：ユーザは、パークされたコール番号を管理できません。
 コール番号は、システムによって割り当てられます。

99551

コールパークのシステム要件

コールパークが動作するには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco CallManager 3.0 以降

次の電話機は、Standard User と Standard Feature ソフトキー テンプレートの [パーク] ソフトキーでのコールパークをサポートしています。

- Cisco IP Phone (モデル 7905、7912、7920、7940、7960、7970)

次の電話機は、電話機ボタン テンプレートの Call Park ボタンによるコールパークをサポートしています。

- Cisco IP Phone モデル 30 (30 SP+ および 30 VIP)
- Cisco IP Phone モデル 12 (12 S、12 SP、12 SP+)
- Cisco IP Phone モデル 7910

インタラクションおよび制限事項

次の項では、コールパークにおけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.9-7\)](#)
- [制限事項 \(P.9-9\)](#)

インタラクション

次の各項では、コールパークが Cisco CallManager アプリケーションおよびコール処理とどのように通信するかを説明します。

- [Attendant Console \(P.9-7\)](#)
- [Music On Hold \(P.9-7\)](#)
- [ルート プラン レポート \(P.9-8\)](#)
- [コール検索スペースとパーティション \(P.9-8\)](#)
- [即時転送 \(P.9-8\)](#)
- [割り込み \(P.9-8\)](#)

Attendant Console

Cisco CallManager Attendant Console は、ac ユーザを設定する際に [コールパーク取得を許可する] チェックボックス (Cisco CallManager Administration の [ユーザの設定] ウィンドウにあります) を使用します。詳細については、このマニュアルの「[ac ユーザの設定](#)」を参照してください。

Music On Hold

Music On Hold を使用すると、ユーザは、ストリーミング ソースから提供される音楽を使用して、コールを保留にできます。Music On Hold では、次の 2 つのタイプの保留を使用できます。

- ユーザ保留 : ユーザが保留ボタンまたは [Hold (ホリユウ)] ソフトキーを押すと、システムによってこのタイプの保留が呼び出されます。
- ネットワーク保留 : ユーザが転送、会議、またはコールパーク機能をアクティブにすると、このタイプの保留が自動的に呼び出されます。

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco CallManager で設定されているパターンと電話番号が示されます。コールパークに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。
『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コール検索スペースとパーティション

デバイスのコール検索スペースに基づいてユーザによるコールパークへのアクセスを制限するには、コールパーク電話番号または範囲をパーティションに割り当てます。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

即時転送

コールパークは即時転送 ([iDivert (ソクテンソウ)] ソフトキー) をサポートしています。たとえば、ユーザ A がユーザ B にコールし、ユーザ B がコールをパークしたとします。ユーザ B はコールを取得し、[ソクテンソウ] ソフトキーを押してそのコールをボイスメール メールボックスに送信しました。ユーザ A に、ユーザ B のボイスメール メールボックスのグリーティングが再生されます。

割り込み

次に、コールパークでの割り込みと C 割り込みの違いについて説明します。

コールパークでの割り込み

発信先の電話機 (割り込み先の電話機) がコールを制御します。割り込みの発信側は発信先の電話機に「ピギーバック」します。割り込み中でも、共通機能のほとんどが発信先の電話機に属しているので、割り込みの発信側は機能を利用できません。発信先がコールをパークした場合、割り込みの発信側はそのコール (割り込み) をリリースする必要があります。

コールパークでの C 割り込み

割り込みの発信先と発信側はピアとして動作します。C 割り込み機能は Conference Bridge を使用し、それを Meet-Me 会議のように動作させます。両方の電話機（割り込みの発信先と発信側）がそれぞれの機能を完全に利用できます。

制限事項

コールパークには、次の制限事項があります。

- Cisco CallManager では、各コールパーク内線番号に、コールを 1 つだけパークすることができます。
- 各コールパーク電話番号、パーティション、および範囲が Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。
- デバイスを登録する各 Cisco CallManager には、固有のコールパーク電話番号と範囲が必要です。
- Cisco IP Phone 7902 はコールをパークできません（パークされたコールの取得しかできません）。

設定の詳細については、P.9-14 の「[コールパーク番号の追加](#)」を参照してください。

コールパークのインストールとアクティブ化

システム機能のコールパークは、Cisco CallManager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コールパークの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [コールパークの設定チェックリスト \(P.9-10\)](#)
- [コールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-11\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-16\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-17\)](#)

コールパークの設定チェックリスト

表 9-1 に、コールパークを設定する際のチェックリストを示します。

表 9-1 コールパークの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コール検索スペース内にパーティションを持つユーザだけがパーティションを使用できるようにコールパーク内線番号のパーティションを設定します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの追加」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」
ステップ 2 クラスタ内の各 Cisco CallManager に対して固有のパーク内線番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • サーバがまだ設定されていない場合は、設定します。 • Cisco CallManager がまだ設定されていない場合は、設定します。 • コールパーク電話番号を追加し、ドロップダウンリストボックスから適切な Cisco CallManager を選択します。 • Cisco CallManager グループにすべてのサーバを追加します。 	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サーバの設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager の設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager グループの設定」

表 9-1 コールパークの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 3 固有のコールパーク番号を設定するか、コールパーク内線番号の範囲を定義します。	コールパーク番号の追加 (P.9-14)
ステップ 4 コールパークにアクセスできる各デバイスに Standard User ソフトキー テンプレートを割り当てます。ソフトキーを使用できない電話機に対しては、Call Park ボタンのある電話機ボタン テンプレートが自動的に設定されます。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」
ステップ 5 コールパーク機能へのアクセスを許可された各ユーザの [ユーザの設定] ウィンドウで、[コールパーク取得を許可する] チェックボックスをオンにします。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
ステップ 6 コールパーク機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco IP Phone でコールパーク機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

コールパークのサービス パラメータの設定

Cisco CallManager には、コールパーク用に、Call Park Display Timer と Call Park Reversion Timer の 2 つのクラスタ全体のサービス パラメータが用意されています。各サービス パラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- **Call Park Display Timer** : デフォルトでは 10 秒に指定されています。このパラメータは、コールをパークした電話機にコールパーク番号を表示する時間の長さを指定します。このタイマーは、Cisco CallManager サービスとコールパークが設定されたクラスタ内の各サーバに対して設定します。
- **Call Park Reversion Timer** : デフォルトでは 60 秒に指定されています。このパラメータは、コールのパーク状態を継続する時間を指定します。このタイマーは、Cisco CallManager サービスとコールパークが設定されたクラスタ内の各サーバに対して設定します。このタイマーが時間切れになると、パークされたコールは、コールをパークしたデバイスに戻ります。

コールパーク番号の検索

ネットワーク上には、複数のコールパーク番号が存在する可能性があるため、Cisco CallManager は特定の条件に基づいて、特定のコールパーク番号を検索します。コールパーク番号を検索するには、次の手順を実行します。



(注) ブラウザセッションでの作業中、Cisco CallManager Administration は、コールパーク番号の検索プリファレンスを保持します。ほかのメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、Cisco CallManager Administration によってコールパーク番号の検索プリファレンスが保持されます。

手順

ステップ 1 **Feature > Call Park** を選択します。

Find and List Call Park Numbers ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリスト ボックスを使用して、コールパーク番号を検索します。

ステップ 2 1 つめの Find Call Park Numbers where ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち 1 つを選択します。

- Number
- Partition
- Description



(注) このドロップダウンリストボックスで選択した基準によって、検索で生成されるコールパーク番号のリストのソート方法が決まります。たとえば、Partition を選択すると、結果リストの左のカラムに Partition カラムが表示されます。

2 つめの Find Call Park Numbers where ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち 1 つを選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly

ステップ 3 必要に応じて適切な検索文字を入力して、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の件数を指定できます。

**ヒント**

データベースに登録されているすべてのコールパーク番号を検索するには、検索文字を入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたコールパーク番号のリストが次の項目で表示されます。

- Call Park Number icon
- Call Park Number
- Partition
- Description
- CallManager

**(注)**

コールパーク番号の横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすることによって、Find and List Call Park Numbers ウィンドウから複数のコールパーク番号を削除できます。ウィンドウに表示されたすべてのコールパーク番号を削除するには、Matching records タイトルバーのチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。

- ステップ 4** レコードのリストから、検索基準に一致する Call Park Number icon または Call Park Number、関連付けられた Partition、Description、または CallManager をクリックします。

選択したコールパーク番号がウィンドウに表示されます。

関連項目

- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-16\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-17\)](#)

コールパーク番号の追加

この項では、1つのコールパーク内線番号またはコールパーク内線番号の範囲を追加する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** **Feature > Call Park** を選択します。
- ステップ 2** ウィンドウの右上隅にある **Add a New Call Park Number** リンクをクリックします。
- Call Park Number Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 適切な設定値を入力します ([表 9-2](#) を参照)。
- ステップ 4** 新規コールパーク番号をデータベースに保存するには、**Insert** をクリックします。
-

関連項目

- [コールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-16\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-17\)](#)

コールパーク番号の更新

この項では、1つのコールパーク内線番号またはコールパーク内線番号の範囲を更新する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** [P.9-12](#) の「[コールパーク番号の検索](#)」の手順を実行して、コールパーク番号またはコールパーク番号の範囲を検索します。
 - ステップ 2** 更新するコールパーク番号またはコールパーク番号の範囲をクリックします。
 - ステップ 3** 該当する設定値を更新します ([表 9-2](#) を参照)。
 - ステップ 4** 変更をデータベースに保存するには、**Update** をクリックします。
-

関連項目

- [コールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-16\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-17\)](#)

コールパーク番号の削除

この項では、Cisco CallManager データベースからコールパーク番号を削除する方法を説明します。

手順

- ステップ 1** [P.9-12](#) の「[コールパーク番号の検索](#)」の手順を実行して、コールパーク番号またはコールパーク番号の範囲を検索します。
- ステップ 2** 削除するコールパーク番号またはコールパーク番号の範囲をクリックします。
- ステップ 3** **Delete** をクリックします。
-

関連項目

- [コールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-17\)](#)

コールパークの設定項目

表 9-2 に、コールパークの設定項目を示します。

表 9-2 コールパークの設定項目






フィールド	説明
Call Park Number/Range	<p>コールパーク内線番号を入力します。数字列またはワイルドカード文字 X（システムでは 1 つまたは 2 つの X を使用できます）を入力できます。たとえば、5555 を入力すると 1 つのコールパーク内線番号 5555 が定義され、55XX を入力すると 5500 ~ 5599 のコールパーク内線番号の範囲が定義されます。</p> <p> (注) 1 つのコールパーク範囲の定義で、最大 100 のコールパーク番号を作成できます。コールパーク番号は固有の番号にしてください。</p> <p> (注) Cisco CallManager サーバ間でコールパーク番号が重複することがないようにしてください。各 Cisco CallManager サーバの番号範囲は固有である必要があります。</p>
Description	このコールパーク番号に簡単な説明を付けます。

表 9-2 コールパークの設定項目（続き）

フィールド	説明
Partition	<p>パーティションを使用してコールパーク番号へのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のパーティションを選択します。コールパーク番号へのアクセスを制限しない場合は、パーティションに <None> を選択します。</p> <p>パーティションの数が 250 より多い場合は、ドロップダウンリストボックスの横に省略記号 (...) ボタンが表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望のパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) コールパーク番号とパーティションの組み合わせが、Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
Cisco CallManager	<p>ドロップダウンリストボックスを使用して、コールパーク番号が適用される Cisco CallManager を選択します。</p> <p> (注) 1 つのコールパーク範囲の定義で、最大 100 のコールパーク番号を作成できます。コールパーク番号は固有の番号にしてください。</p> <p> (注) Cisco CallManager サーバ間でコールパーク番号が重複することがないようにしてください。各 Cisco CallManager サーバの番号範囲は固有である必要があります。</p>

関連項目

- [コールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-14\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-15\)](#)

コールパークのトラブルシューティング

表 9-3 に、よくあるコールパークの問題のトラブルシューティング リカバリのヒントを示します。

表 9-3 コールパークのトラブルシューティングのヒント

不具合の内容	推奨処置
ユーザがコールをパークできません。ユーザが [パーク] ソフトキーまたは機能ボタンを押しても、コールがパークされません。	<p>クラスタ内の各 Cisco CallManager に固有のコールパーク番号が割り当てられていることを確認してください。P.9-14 の「コールパーク番号の追加」を参照してください。</p> <p>コールパーク番号に割り当てられたパーティションが、電話機の電話番号に割り当てられたパーティションと一致していません。P.9-14 の「コールパーク番号の追加」および『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の追加」の項を参照してください。</p>
コールパーク番号の表示時間が短すぎます。	Call Park Display Timer の設定時間を長くします。P.9-11 の「 コールパークのサービスパラメータの設定 」を参照してください。

その他の情報

関連項目

- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタン テンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「クラスタ化」

その他のシスコ マニュアル

- Cisco IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco CallManager
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)